

わかめ新聞

秋号

令和7年10月1日発行

～しんわっこの夏～

今年の夏も暑さ知らずのしんわっこたち。プール・水遊び、保育園でしかできないダイナミックな遊びも友達と一緒に楽しみました。全身で夏を満喫した子どもたち。この夏で真っ黒に日焼けして楽しい思い出がたくさんできました。



水しぶきとともに水かけっこが始まりました。「冷た～い」「気持ちいい～！」と口々に言いながら水をかけてくる子どもたち。保育士にも容赦なくじゃぶじゃぶかけてくるんです。この遊びを通して少しずつ慣れて水が大好きになる子もいるんですよ。とっても気持ちよさそうです。

友だちと仲良く寝転がっているうめ組の子どもたち。お腹の上に掛けてある布団…ではなく、新聞紙遊びの真っ最中。ぐっすり眠れるかな？しんわっこみんな、新聞紙遊びが大好きで裸足になって遊びます。小さくちぎって雨に見立てて遊んだり、新聞紙で剣を作って戦ったり、保育士に洋服を作ってもらい、ファッションショーを楽しんだりしています。たくさん遊んだ分、片付けも張り切ってしてくれます。



さくら組ではおやつに出るトウモロコシの皮むきに挑戦しています。何枚も重なっている皮を必死で剥いていく子どもたち。黄色い粒が見えた時はみんなで喜び合いました。食育にもつながり、食に興味を持つことができました。



シャボン玉大好きなすみれ組。今日も一生懸命大きなシャボン玉を作ろうと必死になっています。大きいシャボン玉が作れると「見てー！大きいのが出来たよ」と自分で作ったシャボン玉が空高く上がっていくのを指さして見上げています。その反面、小さいシャボン玉をたくさん吹いている子もいます。光に反射してとってもきれいでつい見惚れてしまうほどです。



自分たちで育てた朝顔をを使って色水遊びをしました。机の上にはきれいな色水がたくさんできていますね。絵の具では出せない自然の色を目で見て肌で感じる事ができました。



タライの中に入っている物は…なんとパン粉！パン粉ならではのざらざらした感触が気持ちよく、子どもたちは興味津々で遊びを楽しみました。この後は、少しずつ水を加えてパン粉粘土に変身させて遊びました。ざらざらした感触からしっとりした感触になり、「不思議だね～」と保育士と一緒に夢中になって遊びました。



しんわっこの夏に欠かせない遊びの一つ、「泥んこ遊び」です。汚れることを気にせずダイナミックに遊ぶことに目をキラキラさせています。友だちと一緒に大きな穴を掘って水を入れてもらい、「温泉入ろう！」「2～3人でダイブ！」「げらげら笑い合い、「もっと大きくしよう」「ここから川を作って水が流れるようにしたら？」と子どもたち同士で遊びを考えています。みんなで協力するともっと遊びが楽しくなることに気付くことができました。



夏の遊びを通して友だちと関わることの楽しさを知ったり、色々なことに挑戦してみようと思ったり…。来年の夏はどんな成長を見せてくれるのかな？楽しみですね！

10月の行事予定

7日(火) 10時～	誕生会 60歳以上の方で誕生月の方もそうでない方も
11日(土) 8:45～	運動会 (雨天中止)
14日(火)～ 16(木) 13時～	わかめ教室 どなたでも
18日(土) 10時～	ひなどりクラブ (要予約)

11月の行事予定

4日(火)～ 6日(木) 13時～	わかめ教室 どなたでも
6日(木) 10時～	秋祭り 60歳以上の方
11日(火) 10時～	誕生会 60歳以上の方で誕生月の方もそうでない方も
15日(土) 10時～	ひなどりクラブ (要予約)

12月の行事予定

8日(月) ～ 10日(水) 13時～	わかめ教室 どなたでも
9日(火) 10時～	誕生会 60歳以上の方で誕生月の方もそうでない方も
10日(水) 10時～	餅つき会 60歳以上の方
ひなどりクラブは園行事のためお休み	
23日(火) 10時～	クリスマス会

1月の行事予定

5日(月)～ 7日(水) 13時～	わかめ教室 どなたでも
6日(火) 10時～	誕生会 60歳以上の方で誕生月の方もそうでない方も

ひなどりクラブは園行事(友愛セール)のためお休み

突撃！
職員インタビュー！

親和保育園ではここ数年、夏恒例！「メダカすくい」が開催されています。実はそのメダカ…しんわっこのためにばら組の堀野先生が育てて持ってきてくださっているのです！そこで今回は堀野先生にメダカを育てるきっかけなどいろいろなことについてインタビューしました。

Q1. メダカを育て始めたきっかけは？

知り合いにもらい、趣味で育て始めたのがきっかけで10年ほど育てています。気づいたらとても増えていました。最初はメダカの知識は全くありませんでした。

Q3. メダカはどこで仕入れているのですか？

メダカ祭りや真備や矢掛にあるメダカ専門店で仕入れています。買う時はメダカの種類よりも「綺麗な～」と感じたメダカを選んでいきます。

Q4. 今まで育てた一番高価なメダカは？

1回3,000円のメダカくじで当たった、ペアで1万2000円のメダカです！

Q5. なぜ保育園でメダカすくいをしようと思ったのですか？

元々、近所の子どもたち相手にメダカすくいをしていました。保育園の子どもたちにも経験してもらえたらいいかなと思い、どんどんメダカの数を増やしました。

Q2. 家でどのくらいメダカを育てているのですか？

200Lの船が8個、10Lの船が5個…数えきれないほどたくさん育てています！！写真は我が家のメダカを育てている様子です！水槽のふちに座っている猫ちゃんは、メダカ釣りをしていますがいまだに釣れたことはありません…(笑)



Q6. 読者の皆様に一言！

メダカはペットショップやホームセンターで購入でき、手軽に育てることができるのでぜひ飼ってみてはいかがでしょうか？そして、メダカは外来種なので勝手に近所の川には流さないようにしてくださいね。

食欲の秋を健康に！

かぼちゃプリン

【材料】	※1人分
かぼちゃ(皮と種を除いたもの)	20g
砂糖	10g
豆乳	20g
生クリーム	5g
水	20g
寒天	0.6g
ゼラチン	0.4g

【作り方】

- ①かぼちゃは適当な大きさに切る。蒸すか電子レンジで加熱して柔らかくし、滑らかに潰しておく。
- ②鍋に水、砂糖、寒天を入れて加熱し、寒天を煮溶かす。
- ③②に、①、豆乳、生クリーム、ゼラチンを加え、ゼラチンが溶けるまで加熱する。
- ④カップに流し入れ、冷やし固める。

～かぼちゃ～

夏に多く収穫されるかぼちゃですが、旬は秋から冬とされています。収穫してすぐよりも、追熟してからの方がおいしくなり、栄養素も増え、風邪予防効果が期待できます！
(かぼちゃに含まれる栄養素とその効果)
・ビタミンA、C、E 免疫向上・アンチエイジング効果
・食物繊維 便秘解消



大きくなった しんわっこ！ 頑張っています！！

☆天使のお仕事☆

今回は2006年度に卒園した大森咲輝さんにインタビュー！保育園時代から明るく元気いっぱいの咲輝ちゃんでしたが、大人になった今も変わらず元気いっぱいでインタビュー中も色々な話で盛り上がっていました！

咲輝さんは今、倉敷中央病院リバーサイドで看護師として働いています。そんな咲輝さんにお仕事について聞いてみました。

Q. いつから看護師になりたいと思っていましたか？

A. 小学生の時からです。理由ははっきり覚えていないけど、弟が喘息を持っていて看護師さんにお世話になる様子を見ていて憧れていたような気がします。保育園の時にはピンクレンジャーになりたいって言ってたんですけどね！(笑)

Q. お仕事をしている時のやりがいは何ですか？

A. 点滴の時に、血管がわかりにくい患者さんでもちゃんと針が入ったとき！その時はやった！って思います。あと、終末期の患者さんの「お家に帰りたい」という願いを叶えられた時には本当に嬉しいです。「帰りたい」という願いを叶えられなかった時には悲しいし、どうしたら帰ることができたのかな、あのタイミングだったのかな・・・と色々考えてしまいます。人と関わることが好きだから、患者さんとその家族の方の最期の過ごし方をいいものにしたいいつも思っています。

Q. 仕事で辛いと思うことはありますか？

A. 仕事ではあまりないです、仕事よりも実習中がしんどかったです。高校3年生の時にはメンタルをやられてしまって、学校や実習は休まずに行ってたけど、涙が止まらない時期がありました。でも患者さんの前では泣かずに頑張れたので、その時の頑張りが今の自信につながっています。

Q. 保育園時代の特に思い出に残っていることは何ですか？

A. 色々思い出があって・・・。七五三のお祝いの時の服は覚えてる！いつもとは違う、きれいな感じの服を着せてもらったのをすごく覚えています！後は、節分の時に鬼から隠れていたのに、先生が鬼に居場所を知らせたこととか(笑)、あと、ひな祭りの時に作ったお雛様の冠が他の人より小さかったこと！ふれあい公園のタイヤの遊具を取り合ったことやバットを捕まえたこともあったな～。他にも、おやつゼリーのバットの中に入って、先生がへらでお皿に入れてくれたこと。でも、本当はフレンチトーストを出してほしいって願ってた(笑)ご飯はどれも美味しかった！牛乳が苦手だったのに、保育園で出る牛乳は飲めてたので不思議だったなと思います。遅い時間のお迎えになると、普段とは違う特別なおもちゃで遊べるのが羨ましかったな～。年長さんの習い事で銭太鼓が一番好きで、楽しかったです。おばあちゃんや先生たちに褒められたことが嬉しかった。卒園後も本気で習おうと思ってたけど、銭太鼓を教えてくださいと断念しました。あー！あと、お泊り保育の時に先生たちが「〇〇ちゃんは、包丁を使うのが上手だね」って褒めてたのも覚えてる！

と、友達のこと保育士のことよく覚えており、ボランティアに来た時のことも話してくれました。

ボランティアに来てた時のことも覚えてるよ。子どもたちの前で絵本を読んだことがあるんだけど、難しかった。あと、お昼寝をしていない子を見て、「気持ち、わかる」と思うことがあった。起きてるとそれで得をすることもあるんだよね。それと、給食の後の食べこぼしの掃除はすごいと思った。すごく沢山食べ物が下に落ちて、なかなかきれいにならなくて・・・(笑)でも、ボランティアはすごく楽しかったです。

他にも学童の時の思い出や、ゆうべのつどいに遊びに来ていたこと等たくさんの思い出話をしてくれた咲輝さん。こちらも「そうそう、そうだったね」「そんなこと、思ってたの！？」と当時を振り返りながら楽しいインタビューができました。

人と関わることが大好きと話す咲輝さん。とっても素敵で頼もしい看護師さんになり、患者さんの為に頑張っていることがすごく伝わってきました。これからも、生き生きと咲輝さんらしく看護師のお仕事を頑張ってほしいと思っています！



☆小さい頃からの友情に涙！倉商野球部の親和OB、未来に向かって☆

ある日の読売新聞の高校野球岡山大会の欄を読んでいると、「『連南3人組』打に思い込め」という見出しの記事に見たことのある名前が!!そこには、堂々と打席に立ってバットを構えている打者・・・それは、平成25年度に本園を卒園した妹尾大弥さんの逞しく成長した姿でした！そしてその連南3人組とは、同年度に卒園した和田俊輝さんと田邊希晃さんのことでした。この3人は倉敷商業高校3年生で、幼少期から肩を並べて白球を追いかけていました。以前、中学校野球選手権大会で優勝した際にもわかれ新聞に掲載したことがあるので覚えている人も多いのではないかと思います(当時一緒にプレーしていた卒園児の糸川大翔さんと居福涼太郎さんは、現在違う高校の軟式野球で活躍中！高校は違いますが、いまでも仲良しみたいです)。今回は予定が合わず、残念ながら対面での取材とはいきませんでしたが、文書でのやり取りで色々答えてもらいました！ ●妹尾大弥 ●和田俊輝 ●田邊希晃

Q. チームの中でどういったことを意識して練習に励んでいましたか？

- A. ●自分にプレッシャーをかけ、チームに迷惑をかけないように、又チームが勝てるように日々練習に励んでいた。
- 常に試合を想定したケースで練習をしていた。また、雰囲気悪くしないために全員が元気に明るくプレーするようにした。
- ムードメーカー(盛り上げ特攻隊長)として常にチームを盛り上げることを意識していた。

Q. 辛い時期に何を励みにして練習に取り組んでいましたか？

- A. ●どうしたら勝てるのかを選手で考えて、ミーティングをたくさんしました。
- 今の練習が意味のあるものだと思えて取り組むことにより、自信に変わった。
- 親や地元の友達の顔を思い浮かべて、「甲子園に出て喜ばせてやろう」という気持ちで練習した。

Q. 高校での練習の内容や家でしているトレーニングは？

- A. ●あまり身長が高い方ではないから、とにかく筋トレをして力に負けないようにした。
- 家で毎日欠かさず素振りをしてた。週に2回ジムに通っていた。
- 筋力をつけるためのウェイトトレーニング、体を大きくするための食のトレーニング、家でのサンドバッグ打ち、常に大会を想定して緊張感を持って練習。

Q. 高校での野球が終わった今の感想を教えてください。

- A. ●一回で良いから親を甲子園に連れていきかけた。
- 終わった瞬間は悲しかったが、今はできることが増えて、有意義な時間を過ごしていると感じる。
- 素直に言うのもっと上に行きたかったという気持ちが強い。でも今はしっかり青春して楽しめているので、それはそれでいいこと。

Q. 高校生活の一番の思い出は？

- A. ●毎日の練習で、みんなと楽しく厳しくガムシャラに甲子園を目指していた日々。
- 野球部のみんなと行った北海道の修学旅行。

Q. これからの進路は？また楽しみなことや夢があれば教えてください。

- A. ●大学野球。社会人野球やプロを目指していきたい。
- 広島経済大学に進学。体が動けなくなるまで野球をプレーしたい。
- 三菱自動車工業株式会社水島製作所に就職し、軟式野球をする予定。

Q. 野球の魅力は？

- A. ●チームスポーツなので、誰かのために一人ひとりが考えながら野球をしていて、見ていて面白い。
- 技術で差があっても頭を使えば差を埋めることができる。
- 自分がアウトを取ったとき、自分が打った時の爽快感。

Q. 親和保育園での思い出は？

- A. ●運動会のリレーでこけたこと。
- 糸川大翔とケンカしたこと。
- 亀島山に登ったこと。学童の時、ザクロの木の実を食べたこと。

回答を読むだけで、真摯に野球に向き合いながらひたむきに練習していた姿が手に取るようにわかりました。在園時の“だいちゃん、としくん、のあくん”は体を動かすことが大好きで、元気いっぱいに園庭を走り回っていました。笑ったり時にはケンカもして涙する時もあった3人。今では築いた友情を大切にしながら周りの人のことも考えて野球をするようになっていて、「心も体も立派な青年になったなあ」という思いでいっぱいです。4月からはそれぞれが新しい場所に行って新しい出会いを経験すると思いますが、心はつながっているはず！職員一同また会える日を楽しみにしていますね☆

